

ウエデイング
ケーキ

中野
劇団

ウエディングケーキ

作・中野 守 (中野劇団)

登場人物

新郎

祖父

披露宴開始前の宴会場外のロビー。赤い顔をした祖父の前を焦った様子の新郎が通りかかる。

祖父 タク。

新郎 あ。

手招きで新郎を呼び止める。

祖父 おう、よう似合ってるやないか。死んだおまえの爺ちゃんを思い出すわ。

新郎 いや、爺ちゃんあんたやから。

祖父 がははは。……そっかあ、タクが結婚かあ。

新郎 ああうん。

祖父 何やねん、浮かへん顔して。緊張してんのか。

新郎 うん。あ、もう、披露宴始まるから中入ってて。

祖父 ……どないしてん。何かあったんか。

新郎 いやうんええから。もう始まるから。

祖父 ……どないしてん。

新郎 いや、ええから。大丈夫やから。

祖父 ええから話してみ。話してみええからええから。

新郎 いやいやホンマ大丈夫やから。

祖父 まさか、タクのお母さんの時みたいに、お嫁さん、誰の子かわからん子妊娠して

たとかか。

新郎 いやいや、えええ!? 何それ。

祖父 違うんか。

新郎 マジそれ？

祖父 ほな、お嫁さん逃げたんか。

新郎 それで、俺が生まれたん？

祖父 お父さんには言うなよ。

新郎 おとん知らんの？

祖父 まま、その話はええわ。何がどないしてん。

新郎 全然よくないって。

祖父 ええから。何があってん。言われへんようなやましいことなんか？

新郎 そんなんちやうって。……ケーキがないねん。ウエディングケーキ。

祖父 ……誰か食べたんか。

新郎 いや、何か連絡の行きちがいで、最初から用意されてなかったみたいで。いやま

あまあまあ大丈夫やから。

祖父 それおまえ、最初から用意されてなかったんちやうんか。

新郎 うんだからそう。

祖父 そら、おまえ、ウエディングケーキのない結婚式なんか、まるで、おまえ、それ。ごめん、

出てこんかった。

新郎 こっちで何とかするから、爺ちゃん席に戻ってて。

祖父 そない言われても、儂、気になって寝られへんがな。

新郎 何で寝る気なん。孫の晴れ舞台やのに。

祖父 まあでも、最初の共同作業はとっくに済ませとんねやろ？

新郎 ん？ ん？

祖父 ウエディングケーキって中に人が入ってる奴やろ？

新郎 そんなんちゃうよ。どっかでやってたん？そんなん。

祖父 とりあえず生クリーム買ってこさせよ。

新郎 生クリーム？ え？ それは一体……。

祖父 ウエディングケーキ言うたら生クリームやがな。会場におけるみんなでホイップすれば何とかなるやろ。

新郎 お客さんにそんなこと頼めへんから。

祖父 タク、みんなおまえのために集まってくれとんねん。ちゃんと説明したらみんな

快くホイップしてくれるわい。

新 郎 無理やって。それに、生クリームだけあってもしゃーないし。

祖 父 生クリームだけあってもしゃーないよ。しゃーないけど、生クリームなかったら

始まらんがな。

新 郎 いや、ちよつと言うてることが。

祖 父 部屋真っ暗になってる間に生クリームばーって床に広げて、電気つけて、すんま

せん、みんなの熱気でケーキ溶けましたって言うたらどないや。わかってくれる

人にはわかってもらえるやる。

新 郎 いやもう、何て答えたらええんか。

祖 父 二人で掃除機持って吸い取って、ほらもう、これって初めての共同作業ちゃうかな。

新 郎 今からケーキ調達できるとこって知らんよね。

祖 父 ……ドンキは？ 聞いてみたんか？

新 郎 いや……。

祖 父 あそこ何でもあるで。

新 郎 てか、ホンマ何とかするから、爺ちゃんも、う席に……。

祖父 僕が何とかしてやりたいってこの気持ちを汲みとったらどないやねん。

新郎 どないやねんって言われても。

祖父 生やなくてもええか？

新郎 え？ 何が？

祖父 クリームや。生やなくてもええか？

新郎 いや、ケーキやったら何でも。

祖父 何でもええってどういう意味や。ホンマ何でもええんか？

新郎 え？ いや、あの……。

祖父 タク、おま、みんなの前でこんなちっこいモンブラン切ってみ。後ろの方まで見えへんがな。会場ざわざわってなるで。あれ、もしかしてモンブランちゃう？ っ
てざわざわってなるで。おっきいモンブランなんかそれはそれで気持ち悪いがな。

大昔の昆虫かな思うで。思わんわ。それは思わんわ。

新郎 爺ちゃん、どんだけ飲んだんよ。

祖父 披露宴まであと何分あるんや。

新郎 もうあんま時間ない。

祖父 ほなあれや、取り敢えずこのまま披露宴やってやな。後でケーキだけ別撮りで合

成したらどないや。

新郎 そんな斬新なアイデア出されても。

祖父 取り敢えず、飲み。落ち着くから。な。な。な。

新郎 いやでも、俺、飲んだら披露宴ぐだぐだになってまうから。

祖父 タクは下戸か。ほな誰かに新郎頼んで、タクはケーキ探しに行ついで。

新郎 何かもう。

祖父 自分で探さな、気に入らんかったりするやろ。

新郎 新郎の代わりなんか誰にもさせられへんよ。爺ちゃん、ホンマ始まるから中に

……。

祖父 そや！

新郎 ？

祖父 披露宴って、大体他の組と時間ずれて始まるがな。先に終わったとこのがなんぼ

か残ってるやろ。残りもん集めたらウェディングケーキ一個分くらいにはなるや
ろ。

新郎 今日、俺らの披露宴しかないねん。

祖父 ええ？ 聞いてないぞ。

新郎 別に爺ちゃんに言わなあかんことでもないから。

祖父 景気の悪い式場やな。そんな景気に入刀でどや。

新郎 どやって言われても。アホかとしか……。ホンマ爺ちゃんええから……。

祖父 延期しよ。

新郎 は？

祖父 披露宴、延期しよ。

新郎 延期なんかできへんよ。結婚式もやってもうてるのに。

祖父 んなもんケーキなかったら延期や。儂ら親族何しに来たと思ってるねん。

新郎 何しに来たんよ。もう、ケーキなしでいくから。

祖父 何やそれ。自分で決めるんやったら、何で儂に相談するねん。儂あ黙って聞くだけか。

儂あ一休さんところてるてる坊主か。

新郎 ごめん、もう大丈夫やから。もうええから早く中に入ってて。

祖父 あかん。吐くわ。吐き倒すわ。

祖父、えずきながら宴会場へ入ろうとする。

新郎　ちよちよちよ爺ちゃん！

祖父　な、何や。入れ言うたがな。

新郎　爺ちゃん、吐くやろ。

祖父　吐かへん吐かへん。

新郎　中で絶対吐かんとってよ。

祖父　吐かへんて。タク、おまえ、次やる時は絶対ケーキ用意しとけよ。

祖父、宴会場へ。

新郎　……不謹慎なこと言うなよ。

終わり。